



令和 8 年 2 月 10 日

国立大学で初めて導入したコーオプ教育 学生による「第 2 回 長期フィールドワーク成果報告会」を開催します

情報共有

広島大学情報科学部では、AI 研究の進展や学生の幅広いキャリア形成に対応した包括的な教育を実現するため、学部カリキュラムを「計算機科学」「データ科学」「知能科学」の 3 つの主専攻プログラム制に再編し、「基礎」「融合」「実践」の 3 つの履修モデルを導入しています。

特に「実践履修モデル」では、産学連携による長期企業派遣型の「コーオプ教育」による教育を行っています。

学生が大学に在籍しながら企業での実務を経験する「コーオプ教育（Cooperative Education）」は、講義で学んだ理論を実社会で応用しながらスキルを磨くことが可能です。

情報科学部が実施するコーオプ教育は、「長期フィールドワーク」という講義科目の枠組みで実施しており、学生は大学 3 年次後期の 4 か月間と 4 年次後期の 4 か月間、企業に有償で勤務し、実際の業務や課題に取り組めます。

このようなデジタル分野での正規課程としてのコーオプ教育は、国立大学としては初の試みです。

このたび、長期フィールドワークに参加した学生 18 人が自らの成長や気づきを語り、学生を受け入れていただいた企業 11 社から講評いただく成果報告会を開催しますのでご案内いたします。

< 成果報告会概要 >

【日 時】 2 月 16 日（月）10 時～16 時

【場 所】 広島大学東広島キャンパス
中央図書館「ライブラリーホール」

【プログラム】

10:00～10:03

主催者挨拶：広島大学理事・副学長 鈴木 由美子

10:03～10:10

広島大学情報科学部における「長期フィールドワーク（コーオプ教育）」の取り組み
広島大学情報科学部長 土肥 正

10:10～12:10

長期フィールドワークⅠの派遣学生による成果発表

12:10～12:40

各企業からの講評

14:00～15:20

長期フィールドワークⅡの派遣学生による成果発表



15：20～15：50

各企業からの講評

15：50～16：00

閉会 広島大学情報科学部長 土肥 正

【参加企業】全 11 社

株式会社エネコム

株式会社サタケ

中国電力株式会社

株式会社ドリーム・アーツ

株式会社日立ソリューションズ西日本

株式会社ひろぎんホールディングス

福山通運株式会社

復建調査設計株式会社

マイクロンメモリジャパン株式会社

マツダ株式会社

三菱電機株式会社 ※50 音順

【お問い合わせ先】

広島大学 東広島地区運営支援部

工学系総括支援室（学士課程担当）

Tel：082-424-7611

E-mail：kou-gaku-gakubu @hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 4枚（本票含む）

第2回 長期フィールドワーク 成果報告会

産学連携!

実践が育む、次世代の力：国立大学初「コーオプ教育」

1年目・2年目の学生が挑戦したリアルな現場での成果をお届けします！実践履修モデルの必修科目である長期フィールドワークに取り組んだ学生18名が、企業での学びや成長を語ります。1年目の新鮮な視点と、2年目の深まった経験。その違いも見どころです！



2 / 16
2026

開場 9:30

10:00~16:00

プログラム

- 主催者挨拶 ●学生による成果報告会
- 企業担当者からの講評

会場

広島大学東広島キャンパス
中央図書館ライブラリーホール

参加対象者

どなたでも参加いただけます

参画企業

参加無料
オンラインでも
参加可能



主催

広島大学情報科学部
〒739-8527
東広島市鏡山一丁目4番1号

お問い合わせ

広島大学
東広島地区運営支援部
工学系総括支援室(学士課程担当)
TEL:082-424-7611・082-424-7869
MAIL:kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp

長期フィールドワーク成果報告会への
参加申し込みはこちらから



申込み期限 2/12(木)まで

<https://forms.office.com/r/dQENrP7BJw>

コオプ教育の取り組み

コオプ教育プログラム
ウェブサイトはこちら

>>



●情報科学部について

広島大学は2018年、コンピューターサイエンスとデータサイエンスを融合した教育の拠点として情報科学部を開設しました。2022年には、AI研究の進展に対応するため、学部のカリキュラムを「計算機科学」「データ科学」「知能科学」の3つの主専攻プログラム制に再編しました。同時に、「基礎」「融合」「実践」の3つの履修モデルも導入し、特に「実践履修モデル」では産学協働による長期企業派遣型の教育を行っています。

●コオプ教育とは？

この長期企業派遣型の教育では、「コオプ教育 (Cooperative Education)」を採用しています。コオプ教育は、大学での学びと、企業での長期かつ有償の職業体験によるスキルアップの相乗効果をもたらす実践的な教育を実施するものです。

1

実践的な学び

学生は、大学で学んだ理論やスキルを就業体験で応用します。これにより、学んだことを実践で試し、自分の進むべき道を具体的にイメージできます。

2

有償のインターンシップ

多くの場合、有償の仕事として行われるため、学びながら収入を得ることが可能です。これが通常のインターンシップとの違いの一つです。

3

学業との両立

大学と企業の間でスケジュールが調整されており、学生が無理なく学びと就業体験を並行して行えます。

4

ネットワーキング

学生は企業での経験を通じて、業界の人々との人脈を築くことができます。これにより、卒業後の就職活動にも有利になります。

大学での専門教育



学業とキャリア
の橋渡し

企業での実務経験



●～実践履修モデルの学生が参加～長期フィールドワーク

情報科学部が実施するコオプ教育は、「長期フィールドワーク」という講義科目の枠組みで実施されています。学生が4カ月間×2年企業に勤務し、大学の支援を受けながら実際の業務や課題に取り組みます。このようなデジタル分野での正規課程としてのコオプ教育は、国立大学では初の試みであり、理論と実践を統合した新たな教育モデルを提供しています。

長期フィールドワークⅠ

約4か月間企業の業務に有償で従事します。大学で学んだ知識やスキルを企業で実践し、最後は成果報告会で発表を行います。

学び直し

長期フィールドワークの間に大学での「学び直し」の期間を設けています。企業で体験した内容を復習したり、知識をさらに深めたりすることで、4年次後期からのフィールドワークに活かします。

長期フィールドワークⅡ

約4か月間長期フィールドワークⅠと同じ企業の業務に有償で従事して、実習を重ねることで、応用力や実践力の向上を目指します。最後は成果報告会で発表を行います。